令和８年度　第１回　障害者施策推進分科会専門部会

◇　日　時　　令和８年８月19日(水曜日)
　　午後３時45分から

◇　場　所　　茨木市役所合同庁舎６階会議室

《次　第》

１　開　　会（10分）

２　議　　題

(1) 障害者施策推進分科会専門部会について（15分）
(2) 各施設の運営状況等について（15分）
(3) 茨木市立障害者就労支援センターかしの木園について（30分）
(4) その他（５分）

３　閉　　会

茨　　木　　市

資料１－１

障害者施策推進分科会専門部会について

１　専門部会の趣旨等について

(1) 市立障害者施設の指定管理の経過について

障害者就労支援センターかしの木園（昭和 57 年)、障害福祉センターハートフル（平成８年）の２つの市立障害者施設は、平成 25 年４月から指定管理者制度を導入しており、令和５年４月からは、３期目の指定管理期間に入り、令和９年度末には現在の指定管理期間が満了となる。

※障害者生活支援センターともしび園（昭和 63 年）は、他の２施設と同様に、平成 25 年４月から指定管理者制度を導入し、令和５年４月から３期目の指定管理を開始したが、指定管理者による法令違反等により指定管理期間の途中に指定の取消処分を行った。そのため、現指定管理は、令和７年９月から令和 12 年３月 31 日までとなっている。

(2) 専門部会の役割について

指定管理者制度導入から 15 年が経過し、その間、市内の社会資源やニーズ等について、変化しているものと考えており、引き続き、令和 10 年４月から４期目となる指定管理者制度を継続するにあたり、改めて、現時点における市立障害者施設として担うべき役割やニーズ等について、さまざまなお立場から意見を頂戴し、今後の各施設の方向性について、市として検討を行っていく。

２　専門部会メンバー等について

(1) 専門部会メンバー

氏　名	団 体 名
中西会長	佛教大学　保健医療技術学部作業療法学科
富澤委員	大阪人間科学大学　社会福祉学科
山口委員	障害者地域自立支援協議会
佐藤委員	茨木障害フォーラム
大川委員	発達障がいの子どもの将来を描く親の会あかね空

(2) オブザーバー

氏　名	施 設 名
横田　園長	障害者就労支援センターかしの木園
水島　所長	障害福祉センターハートフル

３　専門部会の日程等について

（1）第１回専門部会

日　　時：令和８年８月 19 日（水曜日）午後３時 45 分から

場　　所：茨木市役所合同庁舎６階会議室

会議内容：市立障害者施設の概要等について

かしの木園に関すること

（2）第２回専門部会

日　　時：令和８年 10 月 14 日（水曜日）午後３時 45 分から

場　　所：茨木市役所南館 10 階大会議室

会議内容：ハートフルに関すること

資料１－２

専門部会の概要について

	障害者就労支援センターかしの木園	障害福祉センターハートフル	障害者生活支援センターともしび園
現状実施しているサービス	就労移行支援事業	地域活動支援センターⅡ型事業	生活介護事業
	就労定着支援事業	生活介護事業	日帰りショートステイ事業
		入浴サービス	
あり方検討の主なポイント	「就労支援センター」として期待される役割	貸館の利用対象者拡大	
		地域活動支援センターの役割についての検討	
前回（R3年度）のあり方検討での主な意見	一般就労を意識した役割を期待する（企業開拓・企業支援など、対障害者でなく対企業も含む）。	館の利用対象が広がること自体は悪くないが、それが障害のある人とない人との交流につながるなど、障害福祉にとってプラスになるものでなければならない。	令和10年度に検討予定
		単純な貸館として利用拡大をすることは適当でない。	
	市内の障害者就労支援の中心を担う施設として、他の事業所を束ねるような役割が必要。	Ⅱ型や入浴サービスは、少なくてもニーズのある必要なサービスであり、無くすことより活かす方法を考える方向が適当。	

【論点整理】

	論点	議論いただきたい内容
共通事項	市立障害者施設として担うべき役割について	①各センターの機能は、障害者等のニーズに合致しているか（指定管理料に見合う内容かも含めて）
		② ①を踏まえ市による実施かつ市立施設でなければ実施困難な事業か
		③建物としてのスペースや機能を十分に活用しているか
かしの木園	「障害者就労」としての役割について	障害者の一般就労を支援する施設として求められる役割について
ハートフル	市立地域活動支援センターが担うべき役割について	市内地域活動支援センターの数の減少等に伴う地域活動支援センターの再編に当たり、より効果的なものにする手法について

資料２－１

市立障害者施設が実施しているサービスの市内状況等について

	平成25年度					平成30年度					令和５年度					令和８年度				
	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）	市内事業者数（か所）	利用定員数（人）	支給決定者数（人）	市内事業所利用者数（人）	市外事業所利用者数（人）
生活介護	16	608	438	283	138	20	716	581	392	161	30	839	650	464	190	29	784	666	494	246
（うち入浴可能事業所）	8	395	－	104	－	10	558	－	252	－	16	583	－	285	－	17	553	－	320	－
就労移行支援	4	70	35	23	8	4	90	74	28	48	5	90	109	39	66	5	77	119	37	74
就労定着支援	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	56	32	23	4	－	74	29	31
地域活動支援センター（Ⅱ型）	1	50	109	75	0	1	50	76	49	1	1	50	46	26	1	1	50	37	24	1

※１　市内事業者数、利用定員数、支給決定者数は各年度４月１日時点における数値

※２　市内・市外事業所利用者数の人数は、各年度４月中の利用者数

資料２－２

現指定管理期間における事業実績（かしの木園）

１　施設及び指定管理者について

施設名等	施設名			所管課名
	茨木市立障害者就労支援センター　かしの木園			障害福祉課
施設所在地	茨木市春日一丁目15番22号			
指定管理者	NPO法人　大阪精神障害者就労支援ネットワーク	指定期間	令和５年４月１日～令和10年３月31日	
設置目的及び選定理由	【設置目的】 障害者の就労を支援し、社会参加の促進 【選定理由】 本市を含む類似施設事業の実施実績が豊富であり、公的機関からの調査研究事業を複数受託するなど多様な経験を有する法人であり、安定運営能力があると判断できるため。			

施設概要	敷地面積	744 ㎡	延床面積	1162 ㎡
	竣工年月	昭和57年４月	改修年月	－
	主な実施事業	就労移行支援、就労定着支援		
	主な自主事業	ジョブコーチ支援事業、中小企業支援事業		
	部屋・設備	事務室（3室）、訓練作業室（３室）、作業室（１室）、食堂兼集会室（１室）、医務室（１室）、相談室（３室）、大会議室（１室）、更衣室（２室）、陶芸室（１室）、和室（１室）		
	目的外使用	－		
	備考	－		
運営状況	利用時間	午前９時から午後4時		
	定休日	土曜日、日曜日、祝日、12/29から1/3まで		
	年間利用日数	245日		
	備考			

料金等	使用料／利用料金の有無	使用料／利用料金制	指定管理料の支払い
	有料	利用料金制	有

第６次総合計画関連取組	章	1	健康・福祉
	施策	3	障害福祉
	取組	3	憩える 参加できる 活躍できる地域生活づくり（障害福祉）

２　利用状況について

	指標	稼働率の算出	単位	前指定管理者 R4年度 実績	前指定管理者 R5年度 実績	現指定管理者 R6年度 実績	現指定管理者 R7年度 実績	現指定管理者 R7年度 目標	現指定管理者 R8年度 目標
年間利用数	就労継続支援Ｂ型利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	4,153	1,379	0	－	－	－
			稼働率	56.3%	37.6%	0.0%	－	－	－
	自立訓練利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	325	0	0	－	－	－
			稼働率	22.0%	0.0%	0.0%	－	－	－
	就労移行	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	－	3,211	3,405	2,590	4,428	2,892
			稼働率	－	44.0%	79.0%	76.1%	90.0%	90.0%
	就労定着	契約者数（延契約者数/12）/定員数	延利用者数	－	16	12	10	18	18
			稼働率	－	82.0%	60.0%	50.0%	90.0%	90.0%

3.収支状況について

（単位：千円）

	内訳		前指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			現指定管理者
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
指定管理者	指定管理業務	支出	総支出額	48,709	87,579	90,271	74,223	69,140	93.2%	62,152
			人件費	36,643	63,822	69,542	57,403	52,806	92.0%	37,538
			消耗品費	292	2,940	358	400	317	79.3%	542
			光熱水費	3,897	2,942	3,354	3,230	3,077	95.3%	3,910
			修繕料	280	5,091	3,576	1,000	1,018	101.8%	3,870
			通信運搬費	239	390	420	390	384	98.5%	340
			手数料	603	1,040	1,090	1,080	876	81.1%	1,242
			委託料	3,914	2,325	2,311	2,580	2,394	92.8%	2,260
			その他経費	2,841	9,029	9,620	8,140	8,268	101.6%	12,450
		収入	総収入額	47,376	90,521	78,227	77,563	61,083	78.8%	62,152
			指定管理料	17,128	33,000	30,004	29,004	29,004	100.0%	28,004
			事業費等収入	28,420	55,946	43,682	46,659	32,015	68.6%	33,974
			利用料等収入	1,828	1,574	1,600	1,900	64	3.4%	174
			前年度繰越金		0	2,941	0	0		0
		収入—支出		▲ 1,333	2,942	▲ 12,044	3,340	▲ 8,057	-241.2%	0
	自主事業	総支出額		0	13,020	14,390	11,090	16,788	151.4%	15,310
		総収入額		0	2,032	6,372	7,750	24,453	315.5%	15,310
		収入—支出		0	▲ 10,988	▲ 8,018	▲ 3,340	7,665	-229.5%	0
	【全体】収入—支出			▲ 1,333	▲ 8,046	▲ 20,062	0	▲ 392		0

	内訳		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
市	支出	総支出額	17,707	33,000	30,004	29,004	29,004	100.0%	28,004
		指定管理料	17,128	33,000	30,004	29,004	29,004	100.0%	28,004
		補償金	579	0	0	0	0		0
	収入	総収入額	0	0	0	0	0		0

資料２－３

公の施設評価シート

１ 施設及び指定管理者について

施設名等	施設名			所管課名
	茨木市立障害福祉センター　ハートフル			障害福祉課
施設所在地	茨木市片桐町4番26号			
指定管理者	（社福）大阪府障害者福祉事業団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
設置目的及び選定理由	【設置目的】 障害者に対して相談、訓練、文化、情報等の機会のより良い提供や障害者の地域社会での自立生活の増進及び福祉の向上 【選定理由】 類似施設における実施実績が豊富であり、蓄積されたノウハウを生かし、様々な地域住民参加型交流事業や啓発事業など、障害者との交流・協働を目的とした事業について提案がなされているため。			
施設概要	敷地面積	2303 ㎡	延床面積	4256 ㎡
	竣工年月	平成8年3月	改修年月	－
	主な実施事業	生活介護事業、地域生活支援事業、入浴サービス、講座、研修及び啓発に関する業務、貸室事業		
	主な自主事業	福祉情報収集・公開、市民芸術の促進・支援		
	部屋・設備	事務室（1室）大会議室（1室）、会議室（3室）、和室（1室）、音楽室（1室）、OA室（1室）、調理実習室（1室）、多目的訓練室（1室）、入浴室（1室）、更衣室（2室）、交流室（1室）、地域活動支援センターⅡ型（3室）、生活介護（3室）		
	目的外使用	自動販売機置場（1.80㎡）		
	備考	中央保健福祉センター（156.87㎡）		
運営状況	利用時間	午前9時から午後9時30分		
	定休日	月曜日、祝日、12/29から1/3まで		
	年間利用日数	301日		
	備考	－		

料金等	使用料／利用料金の有無	使用料／利用料金制	指定管理料の支払い
	有料	利用料金制	有

第6次総合計画関連取組			
	章	1	ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
	施策	3	障害者への支援を推進する
	取組	3	障害者の社会活動への参加促進

２ 利用状況について

	指標	稼働率の算出	単位	現指定管理者 R4年度 実績	現指定管理者 R5年度 実績	現指定管理者 R6年度 実績	現指定管理者 R7年度 実績	現指定管理者 R7年度 目標	現指定管理者 R8年度 目標
年間利用数	地域生活支援事業利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	1,678	1,490	1,446	1,417	1,500	1,873
			稼働率	13.7%	12.2%	11.3%	11.3%	12.0%	15.0%
	入浴サービス利用者数	－	延利用者数	1,838	2,377	2,433	2,369	2,500	2,470
			稼働率	－	－	－	－	－	－
	生活介護事業利用者数	延利用者数/（定員×開所日数）の月平均	延利用者数	2,103	2,583	2,671	3,061	2,825	3,305
			稼働率	42.7%	52.7%	53.2%	61.2%	56.5%	66.1%

3.収支状況について

（単位：千円）

	内訳		現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者	現指定管理者			現指定管理者
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
指定管理者	指定管理業務	支出	総支出額	161,056	167,347	172,873	174,378	191,000	109.5%	175,252
			人件費	82,082	77,428	78,561	83,114	94,269	113.4%	83,988
			報償費	2,567	2,800	2,622	2,550	3,209	125.8%	2,550
			消耗品費	7,144	5,702	6,433	2,100	5,320	253.3%	1,200
			光熱水費	8,081	7,431	8,731	9,446	8,746	92.6%	9,446
			修繕料	2,451	2,616	3,344	2,100	5,968	284.2%	2,100
			手数料	2,832	2,102	2,103	2,119	2,221	104.8%	2,119
			委託料	38,500	49,409	50,841	51,269	52,842	103.1%	51,269
			その他経費	17,399	19,859	20,238	21,680	18,425	85.0%	22,580
		収入	総収入額	171,002	177,075	180,825	174,678	200,941	115.0%	175,552
			指定管理料	130,316	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
			事業費等収入	38,966	45,656	49,329	42,198	68,414	162.1%	43,053
			利用料等収入	865	1,011	1,071	927	1,187	128.0%	946
			その他	855	753	770	887	674	76.0%	887
		収入―支出		9,946	9,728	7,952	300	9,941	3313.7%	300
	自主事業	総支出額		0	300	300	300	300	100.0%	300
		総収入額		0	0	0	0	0		
		収入―支出		0	▲ 300	▲ 300	▲ 300	▲ 300	100.0%	▲ 300
	【全体】収入―支出			9,946	9,428	7,652	0	9,641		0

	内訳		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			R8年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	決算額	執行率	予算額
市	支出	総支出額	130,436	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
		指定管理料	130,316	129,655	129,655	130,666	130,666	100.0%	130,666
		補償金	120	0	0	0	0		0
	収入	総収入額	745	743	751	1,748	1,673	95.7%	1,756
		目的外使用料	690	690	690	807	797	98.8%	807
		自動販売機電気使用料	55	53	61	941	876	93.1%	949

資料３－１

かしの木園における利用者等について

1　就労移行支援事業（令和８年４月１日時点、契約者数 16 人）

(1) 利用者の年齢層について

年代	人数
10 代～20 代	7 人
30 代	1 人
40 代	5 人
50 代以上	3 人

(2) 利用者の障害種別について

	身体障害	知的障害	精神障害	難病
人数	0 人	2 人	14 人	0 人

(3) 利用者の障害支援区分について

	なし	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
人数	14 人	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人

(4) 利用者の利用年数について

利用年数	人数
６か月未満	6 人
６か月以上１年未満	4 人
１年以上１年６か月未満	3 人
１年６か月以上２年未満	1 人
２年以上	2 人

(5) 訓練内容

軽作業、ＰＣ作業、施設外就労、グループワーク、企業実習、企業見学　等

（6）令和５年度～令和７年度に退所された方の退所理由

理由	人数	
一般就労		28 人
他のサービスに移行	就労移行事業所	1 人
	Ａ型事業所	2 人
	Ｂ型事業所	0 人
	生活介護	0 人
	その他	0 人
転出・死亡		0 人
その他（※）		5 人

※在宅等

２　就労定着事業（令和８年４月１日時点、契約者数８人）

（1）利用者の年齢層について

年代	人数
10 代～20 代	2 人
30 代	2 人
40 代	3 人
50 代以上	1 人

（2）利用者の障害種別について

	身体障害	知的障害	精神障害	難病
人数	0 人	2 人	6 人	0 人

（3）利用者の障害支援区分について

	なし	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
人数	7 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人

(4) 利用者の利用年数について

利用年数	人数
１年未満	２人
１年以上２年未満	３人
２年以上３年未満	３人

(5) 支援内容

定期面談、職場訪問　等

(6) 令和５年度～令和７年度に退所された方の退所理由

理由	人数	
退職		５人
他のサービスに移行	就労移行事業所	３人
	Ａ型事業所	０人
	Ｂ型事業所	１人
	生活介護	０人
	その他	０人
転出・死亡		０人
その他（※）		１人

※転職

3　自主事業

(1) 就労チャレンジ事業

就労継続支援Ｂ型事業所等の利用者、市庁内実習体験者、スマイルオフィスの利用者、市内相談機関からの希望者に、就労準備性の確認や就労準備性の向上、また就労意欲の向上を目的とした実習を行う。

(2) ICT テレワーク事業

PC を活用した WEB ページ、ホームページデザイン、DTP、簿記などの知識・技術の習得、SPIS を活用した体調管理や業務管理など、企業オフィス・在宅の双方で必要となるビジネスマナーや職務遂行能力を高め、在宅･短時間就労を含む就職機会の拡大を図る。

(3) ジョブコーチ支援事業

就労後安定した職業生活を送って頂くため、就労定着支援事業(障害福祉サービス)を受けることのできない方や重点的な支援が必要な方に訪問型ジョブコーチによる支援を提供する。

(4) 中小企業支援事業

中小企業を中心に訪問活動を行い、障害者雇用の拡大の為、雇用経験のない企業や雇用を行っている企業等に対して、課題解決につなげるために、セミナーの実施、相談窓口として定期的な相談会等を開催する。また、企業と福祉機関の交流の場を増やし、それぞれの立場の理解を深め障害者雇用の拡大を図る。

(5) 就労アセスメント事業

障害者や働くことに困難を抱える方(難病の方、生活困窮者など)が安心して働くことに挑戦できる茨木市を目指し、就労支援機関の就労支援技術の向上を目的に研修・講演会や事例検討会の実施、就労支援機関の交流による支援ノウハウ提供・共有を行う。

(6) 各種イベント事業事業

利用者、家族、地域住民との交流の場として下記のイベントを開催します。

(7) 就労選択支援

障害福祉サービスにおける就労選択支援の指定を受け、本事業の要綱に沿った支援を行う。

資料３－２

施設利用状況について

１　図面

別紙参照

２　利用状況について

(1)事務室（図面番号①・③・⑤）

図面番号①の事務室では、指定管理業務全般の事務が実施されている。

図面番号③の事務室では、管理栄養士や一部自主事業の事務が実施されている。

図面番号⑤の事務室では、主に自主事業の事務が実施されている。

(2)相談室（図面番号②）

就労移行支援、就労定着支援の利用者や企業担当者の面談で使用されている。利用者には就労に関することや生活面での相談、企業担当者には雇用管理に関する相談に乗り、不安や課題の解決に向けた話し合いを行っている。

(3)訓練作業室（図面番号④）

就労移行支援の基礎訓練を実施する部屋と使用され、所内実習や各プログラムが実施されている。パソコンによる実習やスキル獲得のプログラムも行われている。

(4)食堂・厨房（図面番号⑥）

最大 30 名ほどが利用できる食堂があり、調理室が隣接されており直接配膳できる状態になっている。窓際には 1 人で食事がとれる席も用意されていて、 1 人で昼食を食べたい方にも配慮がなされている。厨房を就労移行支援の利用者の実習場所として利用していることもある。

(5)女子更衣室（図面番号⑦）

図面の右側の更衣室は調理員が使用しているが、左側の更衣室は物置として使用している。

(6)休養室・和室（図面番号⑧・⑩）

利用者の休憩だけでなく、面談等にも使用されている。

(7)作業室（図面番号⑨）

就労移行支援で使用される資材等の置き場として使用されている。

(8)会議室（図面番号⑪）

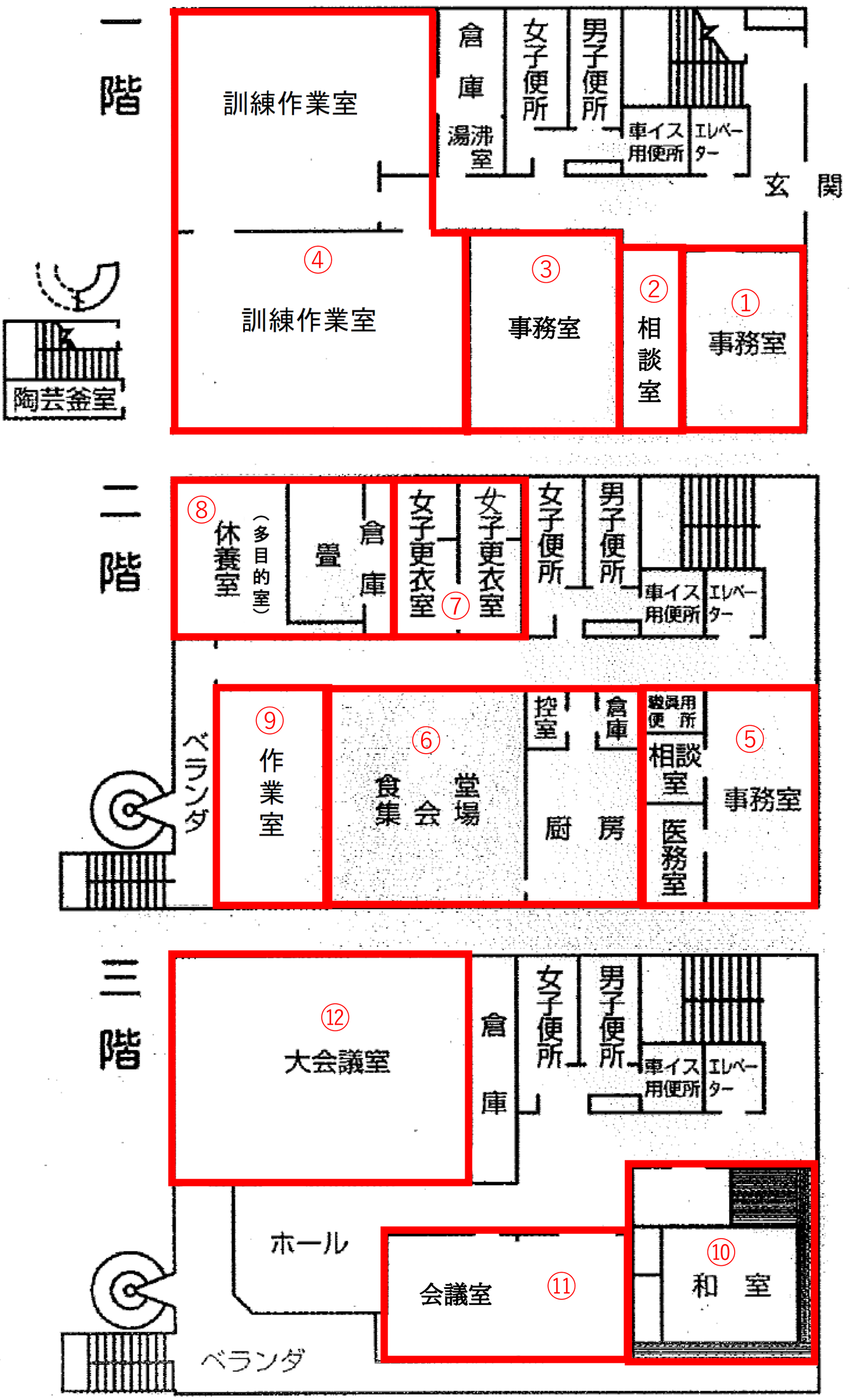
職員会議や利用者の面談のほか、企業支援の面談等の応接室として使用されている。

(9)大会議室（図面番号⑫）

主に自主事業の中小企業支援事業で使用され、障害者の雇用経験のない企業向けや障害者雇用に関する課題解決のためのセミナーを実施し、企業と福祉機関の交流の場としている。地域の障害福祉事業所の就労支援スキル向上のための研修やセミナーも実施している。

図面（かしの木園）

別紙


一階
訓練作業室
倉庫
湯沸室
女子便所
男子便所
車イス用便所
エレベーター
玄関
④
訓練作業室
③
事務室
②
相談室
①
事務室
陶芸釜室
二階
⑧
休養室（多目的室）
畳
倉庫
女子更衣室
⑦
女子更衣室
女子便所
男子便所
車イス用便所
エレベーター
ベランダ
⑨
作業室
⑥
食堂会場
控室
厨房
倉庫
⑤
事務室
相談室
医務室
職員用便所
三階
⑫
大会議室
倉庫
女子便所
男子便所
車イス用便所
エレベーター
ホール
会議室
⑪
⑩
和室
ベランダ

参考資料１

かしの木園における要望・満足度調査について

１　各項目回答率

別紙参照（指定管理者候補者選定委員会（モニタリング）資料より抜粋）

２　職員・接遇について

・優しく指導いただけたこと、感謝しています。
・支援のおかげで、仕事をする活力がわいてくる。
・馬が合わない職員がいる。
・やりたいことが否定される。

３　設備に関すること

・パーテーション等、プライバシーに関する環境整備をしてほしい。
・１階トイレ女子トイレの水圧が弱いので少し強くしてほしい。
・お手洗いの洗面と床の蓋に不満がある。

４　その他サービスに関する意見

・給食のおかずにから揚げを多くしてほしい。

満足度調査等の中でかしの木園に関する内容は上記のとおりです（全文表記ではなく、いくつかの意見をまとめたり、概要を記載したりしています。）。

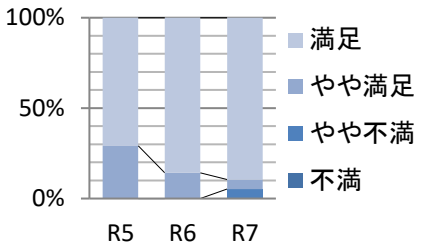
③アンケート実施結果

参考資料２

1 職員のあいさつについての満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	17	1	1	0
			89%	5%	5%	0%
現指定管理者	R6	28	24	4	0	0
			86%	14%	0%	0%
現指定管理者	R5	24	17	7	0	0
			71%	29%	0%	0%

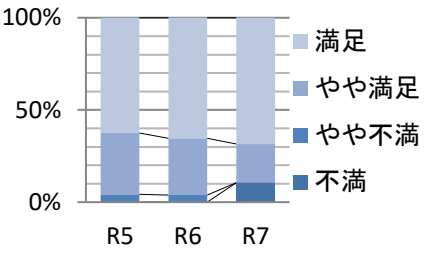
回答割合推移



2 職員の親身な応対についての満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	13	4	0	2
			68%	21%	0%	11%
現指定管理者	R6	26	17	8	1	0
			65%	31%	4%	0%
現指定管理者	R5	24	15	8	1	0
			63%	33%	4%	0%

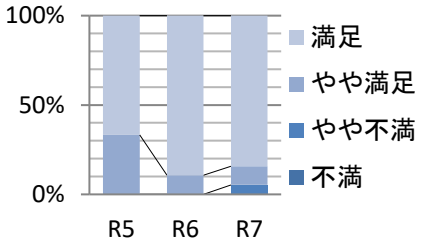
回答割合推移



3 職員の身だしなみについての満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	16	2	1	0
			84%	11%	5%	0%
現指定管理者	R6	28	25	3	0	0
			89%	11%	0%	0%
現指定管理者	R5	24	16	8	0	0
			67%	33%	0%	0%

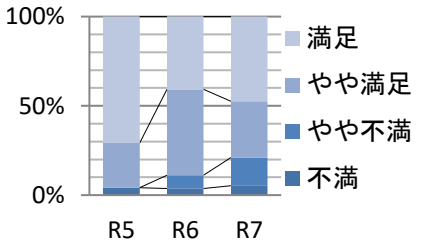
回答割合推移



4 利用者からの相談のしやすさへの満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	9	6	3	1
			47%	32%	16%	5%
現指定管理者	R6	27	11	13	2	1
			41%	48%	7%	4%
現指定管理者	R5	24	17	6	0	1
			71%	25%	0%	4%

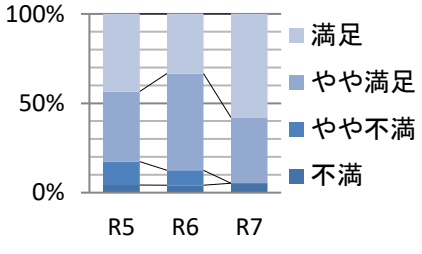
回答割合推移



5 施設内の清潔・安全面への満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	11	7	0	1
			58%	37%	0%	5%
現指定管理者	R6	24	8	13	2	1
			33%	54%	8%	4%
現指定管理者	R5	23	10	9	3	1
			43%	39%	13%	4%

回答割合推移

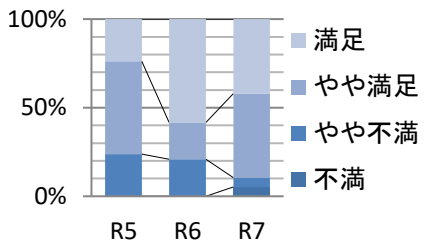


6

設備等の使いやすさへの満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	8	9	1	1
			42%	47%	5%	5%
現指定管理者	R6	24	14	5	5	0
			58%	21%	21%	0%
現指定管理者	R5	21	5	11	5	0
			24%	52%	24%	0%

回答割合推移

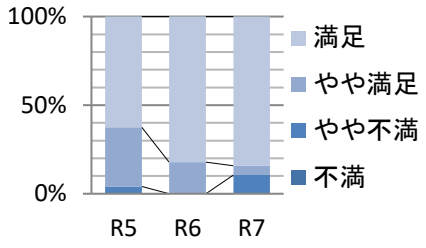


7

職員の言葉遣いに対する満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	16	1	2	0
			84%	5%	11%	0%
現指定管理者	R6	28	23	5	0	0
			82%	18%	0%	0%
現指定管理者	R5	24	15	8	1	0
			63%	33%	4%	0%

回答割合推移

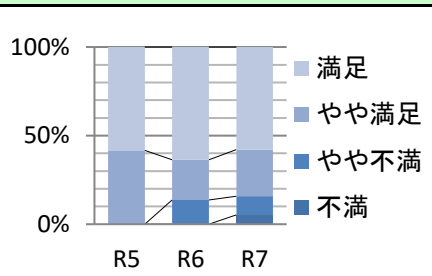


8

企業実習時の相談・支援の満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	11	5	2	1
			58%	26%	11%	5%
現指定管理者	R6	22	14	5	3	0
			64%	23%	14%	0%
現指定管理者	R5	24	14	10	0	0
			58%	42%	0%	0%

回答割合推移

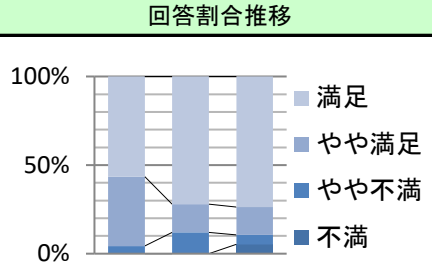


9

就職活動に関する支援の満足度

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7	19	14	3	1	1
			74%	16%	5%	5%
現指定管理者	R6	25	18	4	3	0
			72%	16%	12%	0%
現指定管理者	R5	23	13	9	1	0
			57%	39%	4%	0%

回答割合推移



10

	年度	総回答数	満足	やや満足	やや不満	不満
			回答数	回答数	回答数	回答数
			回答割合	回答割合	回答割合	回答割合
現指定管理者	R7					
	R6					
	R5					

回答割合推移



参考資料３

就労移行支援等における実績状況等について

（※令和８年度第１回茨木市障害者施策推進分科会資料「障害福祉計画（第７期）の取組状況等について」から抜粋）

３　日中活動系サービス

サービス種別	単位	障害種別	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
			見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
就労移行支援	月平均利用者数【人/月】	身体障害者	10	6	60%	7	7	100%	7	12	171%
		知的障害者	23	17	74%	25	17	68%	27	13	48%
		精神障害者	79	67	85%	88	69	78%	93	79	85%
		合　計	112	90	80%	120	93	78%	127	104	82%
	月平均利用日数総数【人日/月】	身体障害者	178	103	58%	126	145	115%	132	199	151%
		知的障害者	381	287	75%	410	291	71%	428	235	55%
		精神障害者	1,346	1,138	85%	1,474	1,101	75%	1,548	1,274	82%
		合　計	1,905	1,528	80%	2,010	1,537	76%	2,108	1,708	81%
	定員数【人】		－	92	－	105	92	88%	110	79	72%
就労定着支援	月平均利用者数【人/月】		57	61	107%	57	65	114%	59	44	75%
	市内指定事業所数【箇所】		－	5	－	6	5	83%	7	5	71%

＊月平均利用日数総数＝「月間の平均利用人員」×「１人当たりの月平均利用日数」

追加資料１

障害者就労支援センターかしの木園についての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③ご意見または、会議で確認したい事項等
市立障害者施設として担うべき役割について	①現在、かしの木園の機能は、障害者、障害関係団体等のニーズ等に合致しているか（指定管理料に見合う内容かも含めて）。	委託の相談支援事業所では、就労に関する相談について、かしの木園の見学相談会や個別相談を利用できたことで、結果としてサービス利用に繋がらなかったものの、より専門的な視点での意見をいただき前に進んだケースもあったようです。また就労選択支援事業についても、かしの木園主催での研修会があったことで、相談支援事業所としても準備ができ、実際の利用相談もしやすかった等、指定管理を担う事業所として、ニーズに応えられていると思います。
		働きたい障害者はたくさんいらっしゃるので、就労移行支援の実施はニーズに合致している。
		指定管理事業（就労移行支援・就労定着支援）は、参入する事業者が多いことから指定管理事業者には特長のある事業者であることが求められる。
		指定管理事業利用者の就職実績のうち一般就労につながった方について開示できる範囲で詳細に確認したい。
		指定管理事業における他の事業者（精神障害の利用者が多い事業者）との違い・特長があれば確認したい。
		就労ネットワーク（他の事業所を束ねるような役割）における実績を確認したい。
	② ①を踏まえ指定管理事業（就労移行支援・就労定着支援）は、市内のニーズとサービス量から見て市による実施かつ市立施設でなければ実施困難であるか。また、指定管理者が自主事業として実施する事業の公的意義をどのように捉えるか（民間事業者の代替可能性も含めて）。 ※市内のニーズとサービス量については、資料２―１参照	就労移行支援の市内全体の充足状況について、指定管理施設として実施する前と後で、効果や分析などはどう検討されていますか。資料2-2を見ると、かしの木園の延べ利用者数は減少傾向にあるようです。JSNさんが従来実施されていた頃のデータはありませんが、指定管理として就労移行を実施されたことで利用者数はどのように変化しているでしょうか。
		前回のあり方検討会では、一般就労を意識した役割への期待があったと思います。昨今の就労系事業所をめぐる課題など動きを見ていると、一般就労そのものへの意識が利用者からも支援者からも遠のいている気がします。自立支援や共生社会といった障害福祉の理念をふまえると、一般就労にはこだわり続けてほしいと思いますので、市立の就労移行支援事業所であるかしの木園が牽引し、茨木市としての一般就労への意識の醸成に努めていただけることを期待します。
		指定管理事業者には、一般就労を拡大できる力を求めたい。
		自主事業が指定管理事業に与える影響があれば確認したい。
		R7年度決算で大幅に赤字が減少している。今後の見通しはどうか。
		指定管理者がもつノウハウが他の同規模の事業者でも実施できるか。
	③建物としてのスペースや機能を十分に活用しているか。活用余地があるなら、どういった活用方法か。	大会議室を使用しての研修会等の開催など、活用されていると思います。更なる活用余地もありそうなので、市内の就労系事業所が共用できるような機能やスペース、例えば、模擬面接会場や、アセスメント備品が備えられたアセスメントスペースの借用など、市内の就労系事業所に意向調査などしてみるのもいいのではないかと思います。また、実績として身体障害の利用者がいないようなので、特に車椅子ユーザーの方なども利用できるようにならないかと考えます。市役所で行っているカレー販売をかしの木園で行うなども、地域の人相手の接客をはじめ、交流の機会にもなって良いのではと思います。
		参考資料１にある「設備に関すること」のうちプライバシーに関する環境整備について、状況を確認したい。
		大会議室（図面番号⑫）の使用頻度を確認したい。
「障害者就労」としての役割について	市立障害者就労支援施設として、今後、かしの木園が担うべき役割（サービス）について何が考えられますか。また、どういったことに期待しますか。	一般就労する力がありながら、長く障害福祉サービスでの訓練を継続し機会を持てずにいる方も、かしの木園の各事業所とのネットワークや働きかけから、ともに障害のある方の一般就労を促進する認識を広めるような役割も担っていただけたらと期待します。
		利用者に身体障害者がいないが、幅広い障害種別の方が利用する施設であって欲しい。視覚障害のある方で言えば、スマホやiPadのボイスオーバー操作、白杖の使い方に始まり、通所支援や音声ソフトの入ったPCでの実習等、障害種別に応じた支援を行って欲しい。
		就労定着支援は重要なものと考えるので、利用者の現状や課題、今後の見通しがあれば確認したい。
		自主事業の企業を対象とする事業について、ハローワーク等の労働機関で実施できることもあるが民間事業者として実施する意義について確認したい。